

Antimicrobial Copper

Cu⁺

TM

Antimicrobial Copperは、
医療関連団体向けの抗菌
ニュースレターである。

9月号
2013年 No. 4

インドの病院が抗菌銅導入へ、 国内で3番目

インド南部にある国内有数の病院Kerala Institute of Medical Sciences (KIMS)、感染対策の一環として抗菌銅の導入開始を発表



In this Issue

インドの病院が抗菌銅導入へ、国内で3番目 P.1

韓国で「Dr. Cu」発売 P.2

豪州およびニュージーランドの企業、Cu+を後押し P.2

銅表面の有効性をアピール P.2

キプロスにおける表面汚染の保護 P.3

韓国とチリ、抗菌銅の取引 P.3

世界の博覧会でアピール P.3

院内除染に関する書籍、出版へ P.4

KIMSは極めて高い専門性を備える総合病院で、病床は600床を保有している。まずは新生児用および肝移植患者用の集中治療室 (ICU) に導入し、ベッド柵、処置カート、オーバーベッドテーブル、ドア金物を対象にするという。

他病棟へ抗菌銅を導入拡大するため、改修後のICUでは感染率のモニタリングを計画している。また、インド南部で展開するネットワーク内の関連10病院への適用も視野に入れている。

今回の改修は、世界的なCu+ブランドのマークが入った抗菌銅製品の製造・販売認可を国内でいち早く取得したCopper Front India社が手がけている。導入完了は10月中旬の見込みである。同社はインドの医療セクターを対象とするだけでなく、南米、イタリア、日本、フランス、アラブ首長国連邦など、世界各国に向けて輸出を既に開始している。

同時に、保健家庭福祉省および近隣都市コーチンの医療機関 Amrita Institute of Medical Sciencesも、Antimicrobial Copperの効用に関心を示している。

メール問い合わせ先: ashley.lobo@copperalliance.asia

Kerala Institute of Medical Sciences について

Kerala Institute of Medical Sciences (KIMS) はインド有数の三次医療機関で、ケーララ州を代表する病院である。2002年にKIMS Healthcare Management Ltd.が開業した。

KIMSは妥協を許さない献身的な医療品質が評価され、国内では医療機関等品質評価機関 (NABH) 認定、国外では豪州保健医療標準評議会インターナショナル (ACHSI) 認定を取得するという名誉を受けている。

韓国で「Dr. Cu」発売

韓国のYoosung Trans Global社、国内初のAntimicrobial Copper製品を「Dr. Cu」ブランドで発売

同社は大手金属メーカーYoosung Metal社の系列企業。2011年に設立され、Antimicrobial Copperブランドの製品を開発しているほか、民間・公共セクターや消費者に向けて、銅の殺菌効果に対する評判を高める取り組みを行っている。

「Dr. Cu」製品は、その品質を保証するCu+マークの使用認可を国際銅協会から受けている。同ブランド製品には現在、スマートフォンのカバー、ドアハンドル、テーブルおよび静菌加工機器などがあるが、今後は家庭用器具、内装建材、家電製品への拡大も視野に入れている。

Yoosung Trans Global社の最高経営責任者(CEO) Yoo Seung-chul氏は、「米国環境保護庁が抗菌素材として唯一認定しているのが銅で、その抗菌作用はナノ銀コーティングよりも優れています」と述べた。

同社では、「Dr. Cu」製品を製造・販売するのみならず、同社の抗菌銅製品ユーザーを対象にした「ソリューション・システム」を開発している。有名レストランチェーンTosilaeも、このサービスを利用している企業の一つである。Tosilaeではソウル市内の2店舗において、Yoosung Trans Global社による抗菌銅製のテーブル、箸・スプーン・フォーク類、静菌加工済み空気清浄機器を採用している。今後は全国の全70店舗で抗菌銅を採用する計画である。

Yoosung Trans Global社が「Dr. Cu」を立ち上げたのは去年後半のことである。今年には国内外の市場において同ブランド製品を展開している。同社は、先に開催された韓国最大の内装材・建材見本市「京郷ハウジングフェア」に出展しており、10月には「Korea Franchise Expo 2013」にも参加を予定している。韓国では、暑い季節に食品を銅製ボウルに保存して腐敗を防ぐという古くからの習慣があるため、Antimicrobial Copperが今後早い段階で市場から受け入れられるのも、不思議ではないだろう。



豪州およびニュージーランドの企業、Cu+を後押し

豪州およびニュージーランドの計13社、正式にAntimicrobial Copperコンソーシアム発足へ

加工業者、製造業者、医療器具会社など幅広い分野の企業からなるグループが、オセアニア地域におけるCu+製品群を拡大し、その市場育成を支援することに合意した。

合意した企業は、Abbotts AMC

Hardware, Adnought Sheet Metal Fabrications, ASSA ABLOY, Austral Wright Metals, Clipsal Schneider Electric, Crane Copper Tube, Esco Medicon Medical, Farley Brass & Copper, KEY Tubing & Electrical Industries, Lamson Products, MM Kembla, Mother of Pearl & Sons Trading, ならびに Safety Rails Australiaの傘下部門 SureCare である。

また、Australian Centre for Health Innovation (ACHI) は、Cu+ブランドを推進する方法として、抗菌銅製の手すりを導入した。ACHIでは研究、シミュレーションおよび経験学習を通じ

て、患者ケアおよび安全性の向上実現に向けて支援しており、年間5,000人以上の訪問者を受け入れている。

臨床部長のKeith Joe博士は次のように述べた。「抗菌銅の手すりを導入したのは、安全な治療環境づくりにおいて、デザイン、インフラ、材料が重要であるという認識を、医療従事者間で高めたかったためです。院内感染防止に大きく役立つインフラ対策の中でも、簡単に効果的な方法であることを示すのに理想的な例です」

詳細情報：www.healthinnovation.com.au

Antimicrobial
Copper



韓国とチリ、 抗菌銅の取引

韓国とチリはAntimicrobial Copper製品の取引契約を締結。両国間における同製品の取引契約として最大規模。

韓国の医療器具メーカー大手Young Dong Medical社は、チリのCodelco（世界最大級の銅企業）に向けて、Antimicrobial Copperの点滴スタンド150本、オーバークラッシュテーブル150台、処置カート200台を出荷した。取引額は総額20万米ドルを超える。

これらのCu+マーク付き製品はすべて、チリの医療セクター、特に全国の病院で使用されることになっている。チリ政府は現在、高い感染率の抑制を目指してAntimicrobial Copperを導入する取り組みを実施している。



世界の博覧会でアピール

Antimicrobial Copper (Cu+ブランド) は、世界の主な科学・医療・健康博覧会にて、感染対策の新アプローチを紹介

その一例が、台北世界貿易センターで最近開催された台湾国際バイオテクノロジー見本市である。同見本市は、アジア太平洋地域で最大級のバイオテクノロジー展。今年は製薬、医療、行政、研究、農業、材料といったセクターから約500の団体が参加し、国内外からの来場者は6万人を超えた。

11月には、世界最大の医療機器見本市MEDICAがドイツで開催される。専門家13万人の来場が見込まれ、多数のアジア各国を含む世界64カ国から4,500を超える団体が展示を行う。Antimicrobial Copperは、世界各国の製品の双方向展示、専門家セミナー、最新研究結果の発表を組み合わせ、過去最大級のプレゼンスを示す計画である。

キプロスにおける表面汚染の保護

キプロス最大の国立病院であるニコシア総合病院 (Nicosia General Hospital)、感染対策として国内で初めて環境表面にAntimicrobial Copperを導入

また、民間の医療機関として国内有数の規模を誇るCyprus Apollonion Clinicも抗菌銅の導入を決定した。両病院とも、集中治療室 (ICU) および感染対策が非常に求められる患者が対象となっている。

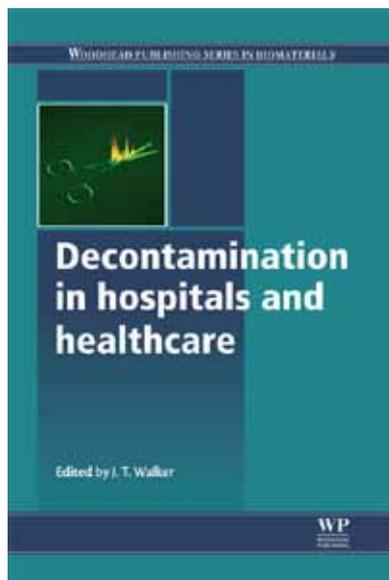
導入対象は、ベッド柵、処置カート、ドアハンドル、押し板、ナースコールボタン、点滴スタンドなど、一部の高頻度接触表面である。

導入は今年に入って既に完了している。これら銅表面の多くについては、Aretaieion病院の微生物ラボが微生物レベルのモニタリングおよび分析を行っている。

ギリシャ保健省National Health Operations CentreのPanos Efstathiou博士は次のように述べた。「キプロス最大級の両病院における抗菌銅の導入は画期的なことです。感染防止が大いに期待でき、ICU関連のコスト削減にもつながります。継続的なコスト削減が可能になることは、不況下の今日においてはとりわけ重要です」

Antimicrobial
Copper





院内除染に関する書籍、出版へ

院内消毒ストラテジーに関する参考図書の新刊『Disinfection and Decontamination in Hospitals and Healthcare (院内および医療分野における消毒と除染)』では、1章を割いてAntimicrobial Copperを特集している。

同書の編者はInternational Biodeterioration & Biodegradation Society (IBBS) および英国特殊化学品協会 (BACS) で、最近開催された同タイトルの会議において発表された。11月に英国のWoodhead Publishingから発行される予定。

抗菌銅に関する章を担当したのが、サウスカロライナ医科大学の微生物免疫学科で副学科長を務めるMichael Schmidt博士である。同博士は、米国で実施した多施設臨床試験において、Antimicrobial CopperがICUにおける感染リスクを1/2以下に削減することを確認している。

www.antimicrobialcopper.com

Antimicrobial
Copper



本ニュースアラートは、アジア銅センターが、International Copper Association社の50周年(1959-2009)を記念し、同社と提携し配布するものである。

国際銅業協会
International Copper Association Ltd.
260 Madison Avenue 16th Floor New York,
NY 10016-2401
www.copperinfo.org

アジア広報課渉外係

Australia & Oceania Contact Mr. John Fennell, john.fennell@copperalliance.asia
China Contact Ms. Jane Cai, jane.cai@copperalliance.asia
India Contact Ms. Savita Gupta, savita.gupta@copperalliance.asia
Japan Contact Mr. Masahiko Wada, mswada@jcda.or.jp
South Korea Contact Ms. Clara Kim, clara.kim@copperalliance.asia
Southeast Asia Contact Ms. Mun Wun Ee, wunee.mun@copperalliance.asia
Taiwan Contact Mr. Charles Lee, charles.lee@copperalliance.asia

銅は、動植物が生命を維持するために不可欠な無機性栄養素である必須元素とされている。銅はまた、半貴金属とみなされている。

銅、黄銅、および青銅は、院内および地域感染の原因となる「スーパーバグ」MRSAなどの病原菌を殺菌する。

米国環境保護庁(EPA)は、抗菌銅合金を、公衆衛生効果を持つ材料として登録することを認めた。

この登録は、銅、黄銅、および青銅が有害致死バクテリアを殺菌する有効性を認めるものである。銅はEPAによって初めて登録されたこの種の固体表面材料であり、その効果は大規模な抗菌効果テストによって実証されている。